札幌市豊平区西岡福住地区在宅医療・地域連携推進協議会　　令和 8 年 11 月 6 日発行　第 76 号

とよひら・りんく NewsLetter

発行　札幌市豊平区西岡福住地区在宅医療・地域連携推進協議会　「とよひら・りんく」事務局

とよひら・りんく　ホームページ：http://www.toyohiralink.jp/

令和 8 年度 第 3 回合同会議を開催しました。

令和 8 年 10 月 26 日（月）18：30～20：00（会場とオンラインのハイブリット開催）

令和 8 年度、第 3 回「合同会議」を開催いたしました。医療・介護・行政関係者等、120 名が参加されました。今回も円滑な運営の協力ありがとうございました。

急性期医療機関のの救急搬送受入の課題の取組み

KKR 札幌医療センター　副院長の品川　尚文　先生に「急性期医療機関の救急搬送受入の課題と取組み」について KKR 札幌医療センターの地域医療連携や救急体制を中心にお話をしていただきました。質疑応答の場面でも具体的な救急搬送受入の院内の多職種連携等についても具体的にご紹介をしていただきました。

＜アンケートから＞（一部）

・地域で支えるために、多職種の連携が重要となる事に共感しました。

・地域で生活を支えている側ですが、多職種が連携することで、利用者に対しての質の高い支援が行えるな…と改めて感じました。

・断らない救急は人員の面など課題がたくさんあると思いますが、様々な工夫を凝らしながら取り組んでいる中で成り立っており、それが地域の皆様の安心にも繋がっていると学びました。私はデイサービス勤務ですが、一度は救急にお世話になっている利用者様がほとんどなため、病院だけではなく今後の生活に戻るためにたくさんの支援がありながら在宅生活を続けていくことの意義について再度考えるいい機会になりました。

・同じ区の KKR 札幌医療センターの救急受け入れ体勢を知れて勉強になりました。

・KKR 病院の救急患者対応の取り組みを知ることができました。（専属医師、救命士の採用なども）

・応需率を上げるための具体的工夫を教えていただき、勉強になりました。

高齢者施設における感染対策（実技・実践）

毎年恒例の感染対策の講義・実技・実践を行いました。

① 尿道留置カテーテルの管理について　JCHO 北海道病院　高橋　泉　感染管理認定看護師

カテーテル関連尿路感染症の復習と予防対策として交差感染の予防（破棄時のポイント、物品の消毒・管理）、尿パックの管理方法等の講義を行っていただきました。

② 誤嚥性肺炎と口腔ケア　西岡病院　小林　恵　感染管理認定看護師、近藤　智恵子　感染管理認定看護師

「毎日の口腔ケアは感染対策である」ということで、誤嚥性肺炎の原因と高齢者施設入所者の口腔ケアの具体的な実施方法について講義を行っていただきました。参加者同士で口腔ケアの実技・実践も行い、理解を深めました。

本研修は介護報酬制度の高齢者施設等感染対策向上加算の要件を満たした内容として実施し、地域の多くの介護施設（老人福祉施設、老人保健施設、グループホーム、有料老人ホーム等）の職員が出席しました。

＜アンケート（一部）＞

・現場で即実践できそうな講義でまたわかりやすく説明してくれたことで、理解もしやすく今後に活かせる内容でした。口腔ケアでは自分がされる側になることで気づいたこともあり、口腔ケアが利用者によって苦痛のケアにならないように、声かけや手技を見直していく必要があると振り返りの場となりました。

・当グループホームにおいても、留置カテーテルを使用している方がいるため、とても参考になりました。

・誤嚥性肺炎、口腔ケアについて参考になりました。

・現場で使える知識がたくさんで、分かりやすかったです。

・当グループホームにはカテーテルの方はいらっしゃいませんが、清潔を維持することは大切だと思いました。

・尿路感染での講義では、汚物槽に流す際にゆっくり行っていてもエプロンなどに跳ねてしまうことがあるため、実験で光らせるのは飛散範囲や部位などがわかりやすかったです。

・口腔ケアでは、食事前に口腔嚥下体操は実施していましたが、食前に行うことはなかったため、確かに…!!と納得しました。自宅で歯を磨いたり義歯を洗っていない利用者様も多く、そういう方には利用時に口腔ケアをしていただいていましたが、それがまさしく誤嚥性肺炎の原因になっていると再認識できました。

・口腔ケアのちゃんとした知識を知ることができた

・仕事上、実際に実践する機会は少ないのですが、セルフケアを推奨する職種として勉強になりました。口腔ケアに対して誤った認識を修正することができました。ありがとうございました。

・技術の振り返りになりました。実践していこうと思います。

・当施設では、カテーテルの長期留置は神経因性膀胱や尿路変更ストーマ造設している方に限られていますので、留置期間がかなり長いため、尿捨ても慎重に行わなければ施設内感染の原因となります。改めて考える機会となりよかったと思います。

・口腔ケアの拒否のある御利用者に対する対応について、過去に上手く助言できなかった事があったので、今後は本日の講義を生かし具体的に助言したいと思います。ありがとうございました。

・感染症は正しく恐れることを新型コロナで学びましたが、改めて日々のケアに感染リスクが潜んでいること、間違いが命にかかわることを再認識しました。スポンジ実習見ていて楽しそうでした。

・口腔ケアについては食前口腔ケアの大切さ、正しいスポンジの使い方が大変参考になった。

＜＜令和８年度のご案内＞＞　日程は以下の通りです。詳細は後日ホームページに掲載します。

第１回合同会議　令和８年６月24日（月）救急医療と多職種連携

講師　JCHO北海道病院　長井　桂　先生、札幌市消防局　長井　英太郎　様

NewsLetter ： https://www.toyohiralink.jp/pdf/NewsLetter_20260706.pdf

第２回合同会議　令和８年８月24日（月）18：30～20：00　札幌市の救急医療と４学会合同ガイドライン

講師　札幌市夜間急病センター　井上　弘行　先生、札幌総合法律事務所　福田　直之　先生

NewsLetter ：https://www.toyohiralink.jp/pdf/NewsLetter_20260909.pdf

第３回合同会議　令和８年10月26日（月）18：30～20：00　救急医療連携と感染対策研修

講師　KKR札幌医療センター　品川　尚文　先生、JCHO北海道病院・西岡病院　感染管理対策認定看護師

第４回合同会議　令和９年２月22日（月）18：30～20：00

講師　札幌市消防局　長山　英太郎　先生、札幌社会福祉協議会／札幌総合法律事務所　福田　直之　先生

とよひら・りんく事務局　西岡病院　岡村　ホームページ：http://www.toyohiralink.jp/

電　話 011-853-8322（平日 9－17 時）　メールアドレス：info@toyohiralink.jp